



報道関係者各位

2013年 4月 24 日  
青森県立保健大学

## シミュレーション・ラボ開設について

本学のシミュレーション・ラボは、目的積立金の有効活用として、A棟2階の一部が改修と必要備品の整備がなされ、4月1日に開設されました。

関東以北で医学部が併設されていない医療系単科大学では、初の開設となります。また、本学では、学部共通施設として位置づけられ、運用はシミュレーション・ラボ運用委員会が行います。

本学では、2010年より医療者教育としてシミュレータを用いた研修会が企画されておりましたが、今後は、同様の研修をシミュレーション・ラボで実施することが可能となりました。

本学のシミュレーション・ラボの設置主旨等は以下の通りです。

### I. シミュレーション・ラボ設置の主旨

本学の教育理念である「専門性」を育み、主体的学習者を育成するための教育設備の充実として、シミュレーション・ラボを設置し、高度な専門性と豊かな人間性を備えた、教育・研究・実践に従事する人材を育成する。

### II. シミュレーション・ラボに求められる機能

1. 臨地実習(病院実習)では得られない臨床体験を学生に習得させる機能
2. 主体的学習者を育成する機能

### III. 基本方針

1. シミュレータ(モデル人形)を常時組み立てた状態にし、学生が主体的に学ぶことができる学習環境を提供する。
2. シミュレータ(モデル人形)などを使用して実際の医療現場を再現した疑似環境を常時提供し、学生の臨床実践能力の向上を目的とした教育を安全かつ効果的に提供する。

### IV. シミュレータを用いたシミュレーション教育におけるメリット

1. 実際の臨床場面を再現できる(患者の症例や患者のおかれている状況設定ができる)
2. 実際に起こる(起きている)同じ場面を繰り返し学習できる
3. 実際に起こっている場面を再現しながら、じっくりと説明・確認ができる
4. ビデオを用いた記録が可能であり、振り返り学習ができる
5. 教育効果評価が測定できる
6. 主体的な繰り返しトレーニングは、基本的臨床能力の強化に有効である

### V. シミュレーション・ラボの備品

1. 高性能シミュレータ(コンピュータ制御のモデル人形) 2体、モデル人形(ワイヤレス操作) 3体
2. ビデオカメラ 固定式5台、移動式1台、プロジェクターなど

### VI. 活用方法

1. 学部生の教育
2. 医療者教育研修会
3. 未来の医療者とその保護者向け研修会(小学生、中学生、高校生)

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2000(代) FAX:017-765-2188

担当:シミュレーションラボ運用委員会 委員長 織井優貴子

事務局 教務学生課 主事 高谷 憲

\*\*\*\*\*